



様式第4号（第6条関係）

平成30年 / 月 / 日

富士見市議会議長 尾崎孝好 様

会 派 名 草の根
代 表 八子 朋弘

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 平成30年1月18日～平成30年1月19日（1泊2日）
- 2 参加者名 八子朋弘、今成優太、伊勢田幸正、勝山祥、加賀奈々恵、村元寛
- 3 場所（研修場所）
全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）
滋賀県大津市唐崎2-13-1
- 4 調査・研修概要
平成29年度市町村議員研修[2日間コース]
「自治体財政の見方 ～健全化判断比率を中心に～」

（1）研修1

地方自治体の財政運営と議員の役割 ～地方財政の現状と健全化法の概要～
講師 稲沢克祐氏（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 博士
（経済学）

講義は地方自治体の財政を捉えるための概要と議員の役割を各財政指標の見方などの解説などを通して行われ、言わば地方財政の入門編のような大変分かりやすい内容であった。

講師のまとめとして「指標で財政をコントロールしていく」そのために、①財政民主主義（予算と決算）②決算重視（財政分析、財政規律）③健全化判断規律という3つがあげられた。

講演の内容を具体的に報告すると、

第1部「自治体の環境変化と地方財政について」では自治体の事例（埼玉県秩父市の例）を上げ、ヒト、モノ、カネのストックサイクルの変化の解説があった。

第2部「自治体の財政運営における議員の役割」では財政民主主義と予算、決算について。

第3部「財政分析指標の意義と考え方」では財政分析指標の意義や財政運営の目指す姿、財政分析の視点、財政文政期指標の理解について、あるいは各財政分析指標についての解説。

第4部「財政健全化法と予算審議」では財政健全化法における議会の対応や自治体経営についての解説があった。

（2）研修2及び研修3

自治体財政指標の見方及び分析のグループ演習

有限責任監査法人トーマツ行政経営推進室サブリーダー・公認会計士の小室将雄氏より、健全化判断比率を中心に各指標について説明を受ける。また、財政状況資料集を用いて財政指標のチェックポイントの解説を受ける。ポイントとなる指標は、実質収支比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4点である。一つの指標だけで財政状況を見ることは出来ない。なぜなら、その部分の数字だけを良いものに見せることが出来るからである。しかし、4点の指標全てを健全に見せかけることは出来ず、どこに問題があるのか、どのように改善すべきなのかを判断することが出来る。

グループ演習では、モデル自治体の財政状況資料集を用いてグループでディスカッション、分析を行った。

（3）研修4 演習のまとめ及び今後の自治体財政のポイント

最後の講義として2日間の講義、演習の総括や議会としてどのような観点から自治体財政を見ていくかという講義内容であった。

①地方行財政を取り巻く最近の動向

全国的には実質公債費比率、将来負担比率はいずれも低下傾向にあり、経常収支比率は90%前後で推移をしている。国の動向としては地方行政サービス改革の見える化、先進自治体を基準に考えるトップランナー方式の導入、民間委

託、公営企業の経営改革の取組みが推進されてきている。

②地方公会計の活用

人口減少、少子高齢化が進展している中、限られた財源を賢く使う取り組みは極めて重要である。

③議会としてのポイント

議会としては、国が示す「経済・財政再生計画改革工程表」において個別の計画や進捗状況を注視、地方自治体の対応状況を見ていく必要がある。

5 感想及びまとめ

今回の研修に参加し、議員として財政指標の見方、分析方法を理解しておくことの重要性を改めて実感した。普段の活動や調査の中で様々な財政指標に接するが、それらがどのような意味を持っているのか、背景にどのような事実があるのかを考察する事は、議会における予算・決算審議のみならず、今後の行政運営を展望する上で欠かせない要素である。今回の研修では、議員として予算審議を行う際、押さえておくべき大前提である財政民主主義の考え方に始まり、各種財政指標の丁寧な解説、全国から参集した議員がグループごとに分かれ、モデル自治体の財政状況資料集を読み込んでいく演習等、実に内容の濃いものであった。全ての議員ができるだけ早い時期に、一度は受ける必要がある研修といっても過言ではないだろう。

まもなく3月の予算議会が開会する。今回学んだ内容を基に富士見市の財政状況資料集を分析した上で、予算審議に臨みたいと思う。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管